

# 愛知県感染症情報

## 平成 11 年第 40 週（10 月第 1 週）

### （コメント）

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎が引き続き多いようです。咽頭結膜熱は減少しました。これから冬にかけて流行するおそれのある、突発性発疹にも注意してください。

### （先生方からのコメント）

- ・ マイコプラズマ肺炎 4 才男  
病原性大腸菌 0-114 VT1、2(-) 2 才男  
（豊橋市 野村小児科）
- ・ 突発疹重症型 1 才女  
（豊橋市 みやざわ小児科）
- ・ マイコプラズマ肺炎の児が 3 人程いました。  
（豊橋市 こどもの国大谷小児科）
- ・ カンピロバクター 9 才男  
エルシニア 2 才男  
（岡崎市 花田こどもクリニック）
- ・ サルモネラ 0-9 群 8 才女  
（岡崎市 にいのみ小児科）
- ・ 2 才百日咳は DPT 未接種者  
（幸田町 とみた小児科）
- ・ 腸重積が 2 例ありました。  
（碧南市 永井小児クリニック）
- ・ サルモネラ 0-8 4 才女  
（刈谷市 まついこどもクリニック）
- ・ 病原性大腸菌 0-1 10 才女、病原性大腸菌 0-166 11 才女いずれもベロ陰性。  
（豊田市 田中小児科）
- ・ 10 月 1 日カンピロバクター 11 才男  
（美浜町 愛知県厚生農業協同組合連合会知多厚生病院）

- ・ カンピロバクター 2才男  
（東海市 小児科ハヤカワ医院）
- ・ 感冒、喘息等少し増加傾向のようですが、これといった感染症は今回はありません。  
（尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院）
- ・ カンピロバクター腸炎 1才男  
マイコプラズマ肺炎 2名（8才男、11才男）  
（瀬戸市 津田こどもクリニック）
- ・ カンピロバクター 40才男  
サルモネラ 56才女  
（新川町 三輪医院）
- ・ 急に寒くなり、上・下気道炎、喘息の患者さんが増えています。  
（一宮市 あさのこどもクリニック）
- ・ カンピロバクター腸炎 11才男。  
（一宮市 さかたこどもクリニック）
- ・ EPEC(0-18)腸炎 35才女  
EPEC(0-166)腸炎 15才男  
EPEC(0-44)腸炎 17才女  
サルモネラ(0-9:G:-) 2才男  
ロタウイルス抗原陽性者2名（7カ月女、4才男）  
（尾西市 城後小児科）
- ・ ムンプス流行し始めました。ヘルパンギーナ続発中。2例目の百日咳あり。  
（岩倉市 なかよしこどもクリニック）
- ・ 百日咳 1才女  
（江南市 みやぐちこどもクリニック）

( 1 ~ 3 類感染症の発生状況 )

腸管出血性大腸菌感染症患者 2 名。

- ・ 春日井保健所から報告の 11 才男。9/28 発病、9/29 初診、10/4 診定。  
菌型は、0157 VT1(+)、VT2(+).
- ・ 足助保健所から報告の 4 才男。9/28 初診、10/6 診定。  
菌型は、0157 VT1(+)、VT2(-)。

腸管出血性大腸菌病原体保有者 1 名

- ・ 西尾保健所から報告の 51 才女。10/4 初診、10/8 診定。  
菌型は、0157。

( 全数把握の 4 類感染症の発生状況 )

アメーバ赤痢患者 1 名

第 38 週 ( 9 月 20 日 ~ 9 月 26 日 ) の 4 類感染症の全国状況

A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、突発性発疹、ヘルパンギーナなどの疾患が例年の同時期に比べ定点当たり報告数がかなり多くなっている。ヘルパンギーナは秋田県で定点当たり 5。43、宮崎県で 3。49 と報告が多くなっている。今週はインフルエンザの定点当たり報告数が例年の同時期よりやや多くなっており、宮城県からは 23 件の報告があった。病原体については検査が行われていない。流行性角結膜炎は群馬県で定点当たり 4。00、愛媛県で 3。00 と報告が多くなっている。

( Infectious Diseases Weekly Report より抜粋

厚生省感染症研究所感染症情報センター感染症情報室提供 )

連日 30 台が続いて、ブーゲンビリアやハイビスカスなど原色の熱帯の花が咲き乱れている雨期のベトナムで感染症調査をして来ました。秋風にコスモスが揺れる名古屋の気候にほっとしています。いつも景重な情報を有難うございます。9月後半のまとめをお送りします。

1.名古屋市：全市的に大きな感染症の発生はありませんが、ぼつぼつ先生方から報告をいただいています。気道感染症では数日間の発熱を主体とした感冒症候群ないし急性咽頭喉頭炎や急性気管支炎、仮性クループ、マイコプラズマ感染症や肺炎クラミジア感染を含む急性肺炎が各地区で発生中で、季節がら気管支喘息発作とか感染に誘発された気管支喘息の緊急入院なども目立っています（第一日赤有吉先生、第二日赤岩佐先生、千種区今枝先生、三菱病院岩間先生、労災病院山田先生）。ウイルスによる胃腸炎が散発していますが細菌性胃腸炎（カンピロバクター、病原性大腸菌 018、サルモネラ群など）も今だに各地区で発生中で要入院例の報告もいただいています（千種区今枝先生、三菱・岩間先生、労災・山田先生）。夏カゼの名残でしょうか、手足口病で口腔内病変がひどくて摂食不能で入院（帯一日赤有吉先生）、無菌性髄膜炎（第二日赤岩佐先生）の報告もいただきました。膿痂疹やブ菌性火傷様皮膚症候群も相変わらず発生中です（千種区今枝先生、労災・山田先生）。その他溶連菌感染症（千種区今枝先生）、川崎病がバラバラ（中京病院柴田先生）、アデノウイルスによる胃腸炎の入院例（労災・山田先生）などのご報告で、第一日赤有吉先生からは非定型的百日咳乳児例の入院例が散発中とのお手紙でした。

2.尾張地区：犬山市武内先生からは突発疹が散発中で水痘 1 例、岩倉市永吉先生からはサルモネラ（08、09）感染症 2 例あり、ヘルパンギーナと手足口病がまだ発生中で水痘と伝染性紅斑が散発中、公立瀬戸陶生病院山口先生からは軽いウイルス性上気道炎（ライノウイルス？）が流行中で、病棟では入院後数時間で死亡した 8 ヶ月児（臨床的にはライ症候群）、麻疹 2 例、サルモネラ腸炎 2 例が目立った、常滑市民病院肥田先生からは特に目立った感染症はなかった、市立半田病院中島先生からも特に目立った感染症はなかったとのお手紙をいただきました。

3.三河地区：豊田地区からは定型的な百日咳が 4 例あり、肺炎の要入院例も多少あるが一定の傾向はなく、定型的な急性腎炎の入院あり（加茂病院岩瀬先生）、外来で発熱の子が増えた（竹内病院梶田先生）、市立岡崎病院系洲先生からは特に目立った感染症の大流行はなかったが百日咳による入院が 2 名あり、安城更生病院小川先生からは手足口病がやや流行していて口腔所見もやや軽いようだ、知立市近藤先生からはヘルパンギーナ小流行中でムンプスと水痘がバラバラあり、カンピロバクター感染症と病原性大腸菌（01、V1V2 は陰性）感染症各 1 例あり、刈谷市田和先生からは幼児～乳児で 2～3 日発熱して頭痛を訴えるものが少し目立ち、ヘルパンギーナと水痘がたまにみられる、碧南市永井先生からは水痘、手足口病、仮性クループが散発中、豊橋市宮澤先生からはマイコプラズマ肺炎、ムンプス、突発疹が少数例とのお手紙でした。有難うございました（文責 磯村）